

# 財務ハイライト

適正なリターンを確保し、持続的な成長を行っていくことで、与信費用等を十分にカバーする利益を確保するよう努め、継続的に資産効率・資本効率の維持・向上を目指します。収益性、健全性ととのバランスや将来に向けて必要な戦略的投資を考慮しつつ、株主の皆さまへの安定的な配当と還元の充実を図ってまいります。

## 決算ハイライト 単体ベース (以下同様)

2023年9月期決算		
収益性	業務純益	265億円
	純利益	85億円
	ROA	0.13%
	ROE	1.70%
健全性	総自己資本比率	12.95%
効率性	OHR	57.8%

(単位:億円)

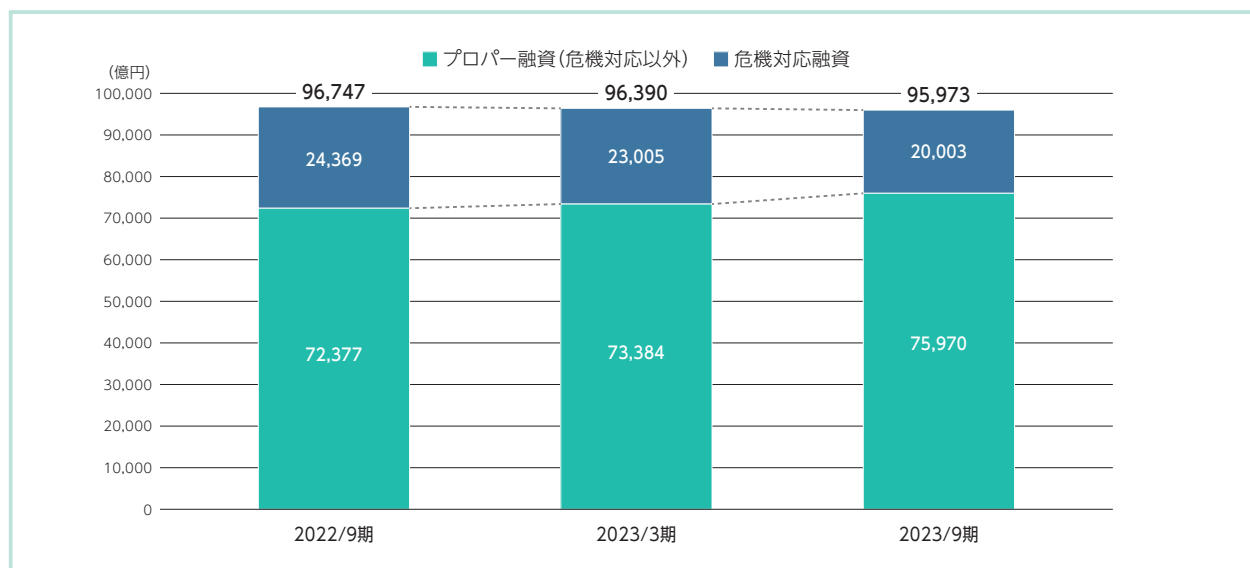
	2021/9期	2022/9期	2023/9期	前年同期比
業務粗利益	598	641	629	△12
資金利益	518	534	551	17
役員取引等利益	36	42	49	6
特定取引利益	26	55	39	△16
その他業務利益	16	9	△11	△20
コア業務粗利益	586	640	629	△11
経費(△)	330	344	363	18
実質業務純益	267	296	265	△31
コア業務純益(一般貸引繰入前)	255	295	265	△30
一般貸引当金繰入額(△)(a)	—	1	6	5
臨時損益	△4	△80	△129	△48
不良債権処理額(△)(b)	△12	67	142	75
経常利益	262	214	129	△85
特別損益	1	△0	△1	△1
法人税、住民税及び事業税(△)	27	61	66	4
法人税等調整額(△)	47	5	△23	△28
中間純利益	189	147	85	△62
与信費用(a)+(b)(△は戻入益)	△12	68	148	80
ROA(中間純利益ベース)	0.29%	0.23%	0.13%	△0.09%
ROE(中間純利益ベース)	3.87%	2.99%	1.70%	△1.29%
総自己資本比率	12.85%	13.06%	12.95%	△0.11%
普通株式等Tier1比率	11.82%	11.55%	11.35%	△0.20%
不良債権比率	2.5%	2.6%	3.0%	0.4%

### 2023/9期の業績のポイント

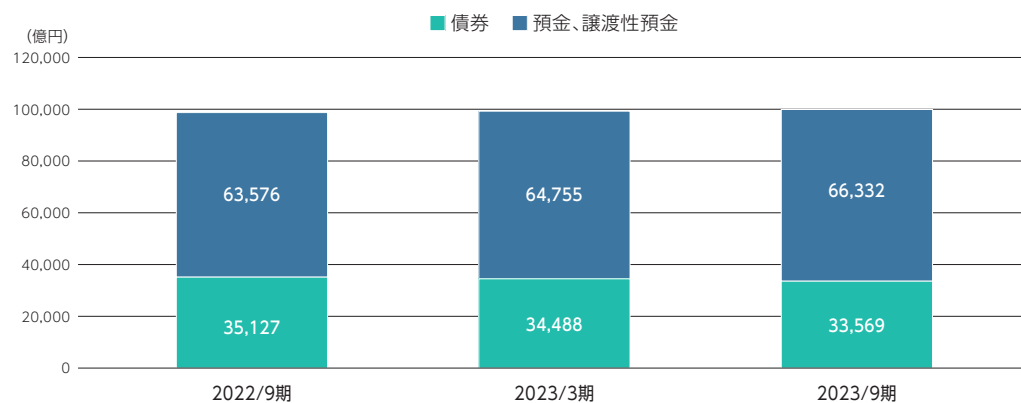
<p><b>業務粗利益</b></p> <p>前年同期比 <b>△12億円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資金利益は、外貨資金利益の拡大等から、前年同期比17億円増加(その他業務利益に計上される外貨調達コスト増加を勘案すると概ね前年並み)。</li> <li>● 役員取引等利益は、シンジケートローンやストラクチャードファイナンスの件数増加により、前年同期比6億円増加。</li> <li>● 特定取引利益は、前年度大幅な為替変動によるリスクヘッジニーズに対応した通貨系デリバティブが一服し、前年同期比16億円減少。</li> </ul>
<p><b>経費</b></p> <p>前年同期比 <b>+18億円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システム関連投資や人的資本投資等の将来に向けた投資により、前年同期比+18億円の363億円。</li> <li>(人件費 前年同期比 +6億円) (物件費 同 +9億円)</li> <li>● OHRは57.8%と、経営改革により構築した経費構造をベースに引き続き合理化を実施。</li> </ul>
<p><b>与信費用</b></p> <p>148億円を計上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 与信費用は、再建目的の金融支援が増加したこと等から、前年同期比80億円の増加となり、148億円を計上。</li> </ul>

- コア業務粗利益は、業務粗利益から国債等債券損益を控除。
- 実質業務純益は、業務粗利益から経費を控除。
- コア業務純益(一般貸引繰入前)は、実質業務純益から国債等債券損益を控除。コア業務純益に含まれる投資信託解約損益は2021/9期該当なし、2022/9期該当なし、2023/9期は1億円。
- 不良債権処理額には一般貸引当金戻入益を含む。
- ROE:純資産は期首と期末の平均により算出。
- 不良債権比率: IV分類額控除後の不良債権の総与信残高に占める割合。
- 自己資本比率は、2023/3期よりバーゼルⅢ最終化を適用。

## 貸出金残高・危機対応融資の推移



## 資金調達の状況



## 自己査定

### 自己査定の取引先区別残高

(単位:億円)

	2022/9期		2023/3期		2023/9期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
破綻先	571	0.6%	549	0.5%	583	0.6%
実質破綻先	542	0.5%	511	0.5%	525	0.5%
破綻懸念先	1,624	1.7%	1,749	1.8%	1,801	1.9%
要注意先	38,164	38.8%	37,677	38.5%	35,891	36.8%
要管理先	582	0.6%	712	0.7%	773	0.8%
その他要注意先	37,581	38.2%	36,964	37.8%	35,117	36.0%
正常先	57,392	58.4%	57,461	58.7%	58,793	60.2%
合計	98,295	100.0%	97,949	100.0%	97,595	100.0%

※自己査定対象債権は、金融再生法に基づく開示対象債権と同一の基準にて開示。金融再生法に基づく開示対象債権は、貸出金のほか、商工中金保証付私募債、外国為替、支払承諾見返や未収利息、仮払金など貸出金に準ずる債権を含む。